

相次ぐ内部告発に続き、八王子地本管内でもハラスメントが横行!! とある産業医から驚くべき発言!

安全衛生
委員会
において

JR東日本輸送サービス労働組合～JTSU-E～豊田運輸区分会

TOTAYUKU NEWS



発行責任者: 分会執行委員長
2021年09月03日(金)

第71号

豊運



相次ぐ内部告発!
本部 MAIL NEWS
No.45,46,50
をご参照ください

これは会社ぐるみ?! ハラスメントが各地で横行か!?

乗務職場を差別・乗務員を軽視した実態がここでも発生!!

- 与えられた仕事だけをこなすだけでなく、自分で(様々なことに)アンテナを高くしながら考えて物事を進められるようにしないと厳しい。与えられた仕事ばかりしている世の中は機械に置き換わる。
- 乗務員職場から支社に異動した人はみんなメンタルをやられている。今まで決まった仕事や自分で完結する仕事しかしていなかったのに、自分で考えて物事を進めるようなことができなくなり、本人が悪いわけではないけど、訓練していないから隣の人と対峙したり調整したりする仕事はできない。
- パソコンも扱えないと困るし、相手の立場も考えたりしないといけなし、自分も考えて行動しないと困るよ。定年後、運輸区に最期までいると出向先は一番行くところがない。

これは、8月期の安全衛生委員会で審議をしている最中での、とある産業医の発言(※一部発言を要約しています)です。

私たち分会は…

- ①この発言は、会社経営陣の意を代弁するものであって、産業医という任務の域を超えた発言である
- ②「乗務員は単純作業だ」「決められたことだけしかやっていない」「自分で物事を考えない」と言わんばかりで、刻々変化する様々な状況で積み上げた経験や感性によって瞬時・的確に判断を下し、安全な鉄道輸送サービスを提供するという鉄道の特殊労働を否定
- ③「パソコンが扱えない」「相手の立場を考えない」「乗務員職場だと出向先も限られる」と、乗務員に対するハラスメントまがいの発言である

という問題意識であり、看過できない発言です!と、同時に同席する管理者も、産業医の任務を超えた発言を傍観するのではなく、相応しくない!と指摘をするべきです!

産業医

事業場において労働者が健康で快適な作業環境のもとで仕事が行えるよう、専門的立場から指導・助言を行う医師。産業医学の実践者として産業保健の理念や労働衛生に関する専門的知識に精通し、労働者の健康障害を防止するのみならず、心身の健康を保持増進することを目指した活動を遂行する任務がある。



八王子だけでなく、各地でも会社ぐるみの
不法行為や社員に対するハラスメントが横行!!
告発も相次ぎ、これでは健全経営の崩壊だ!!
輸送サービス労組はJR東日本の経営姿勢を
断固許さず、健全経営を取り戻していきます!!

コンプライアンス軽視の企業風土に染まるJR東日本会社!
あらゆる「ハラスメント」を許さず、健全で働きたい
職場風土を創るため、輸送サービス労組に結集しよう!